

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年10月6日
【事業年度】	第68期（平成20年6月1日から平成21年5月31日まで）
【会社名】	株式会社サカタのタネ
【英訳名】	SAKATA SEED CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 坂田 宏
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区仲町台二丁目7番1号
【電話番号】	(045) 945 - 8800（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 宇治田 明史
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区仲町台二丁目7番1号
【電話番号】	(045) 945 - 8800（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 宇治田 明史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年8月28日に提出いたしました第68期（平成20年6月1日から平成21年5月31日まで）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、有価証券報告書の訂正報告書を提出いたします。

なお、財務諸表等の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行っておりますので、併せて修正後のXBRLデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

損益計算書

注記事項

（損益計算書関係）

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【損益計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)	当事業年度 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)
売上高	32,467	32,409
売上原価		
商品期首たな卸高	9,323	9,781
当期商品仕入高	<u>2</u> 19,835	<u>2</u> 19,503
合計	29,159	29,285
商品期末たな卸高	9,781	<u>9,900</u>
商品売上原価	19,377	<u>1</u> 19,385
売上総利益	13,090	13,024
販売費及び一般管理費		
販売荷造費	681	687
運搬具	1,255	1,276
広告宣伝費	616	660
貸倒引当金繰入額	44	83
従業員給料及び手当	3,675	3,693
役員退職慰労引当金繰入額	75	30
退職給付費用	178	180
減価償却費	1,022	1,037
賃借料	345	324
その他	4,679	4,642
販売費及び一般管理費合計	<u>2, 3</u> 12,573	<u>2, 3</u> 12,618
営業利益	516	406
営業外収益		
受取利息	<u>2</u> 73	<u>2</u> 94
有価証券利息	49	61
受取配当金	<u>2</u> 371	<u>2</u> 393
受取賃貸料	<u>2</u> 244	<u>2</u> 246
雑収入	<u>2</u> 88	<u>2</u> 93
営業外収益合計	826	889
営業外費用		
為替差損	393	598
投資有価証券運用損	90	333
雑損失	49	91
営業外費用合計	534	1,023
経常利益	809	272

	前事業年度 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)	当事業年度 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)
特別利益		
固定資産売却益	-	45
関係会社清算益	-	50
特別利益合計	-	56
特別損失		
訴訟関連損失	-	35
減損損失	5126	5453
投資有価証券評価損	364	934
投資有価証券売却損	37	-
たな卸資産評価損	-	246

以下 略

(訂正後)

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)	当事業年度 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)
売上高	32,467	32,409
売上原価		
商品期首たな卸高	9,323	9,781
当期商品仕入高	<u>3</u> 19,835	<u>3</u> 19,503
合計	29,159	29,285
他勘定振替高	-	<u>1</u> 246
商品期末たな卸高	9,781	<u>9,653</u>
商品売上原価	19,377	<u>2</u> 19,385
売上総利益	13,090	13,024
販売費及び一般管理費		
販売荷造費	681	687
運搬具	1,255	1,276
広告宣伝費	616	660
貸倒引当金繰入額	44	83
従業員給料及び手当	3,675	3,693
役員退職慰労引当金繰入額	75	30
退職給付費用	178	180
減価償却費	1,022	1,037
賃借料	345	324
その他	4,679	4,642
販売費及び一般管理費合計	<u>3,4</u> 12,573	<u>3,4</u> 12,618
営業利益	516	406
営業外収益		
受取利息	<u>3</u> 73	<u>3</u> 94
有価証券利息	49	61
受取配当金	<u>3</u> 371	<u>3</u> 393
受取賃貸料	<u>3</u> 244	<u>3</u> 246
雑収入	<u>3</u> 88	<u>3</u> 93
営業外収益合計	826	889
営業外費用		
為替差損	393	598
投資有価証券運用損	90	333
雑損失	49	91
営業外費用合計	534	1,023
経常利益	809	272
特別利益		
固定資産売却益	-	<u>5</u> 5
関係会社清算益	-	50
特別利益合計	-	56

	前事業年度 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)	当事業年度 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)
特別損失		
訴訟関連損失	-	35
減損損失	<u>6</u> 126	<u>6</u> 453
投資有価証券評価損	364	934
投資有価証券売却損	37	-
たな卸資産評価損	-	<u>1</u> 246

以下 略

【注記事項】

(損益計算書関係)

(訂正前)

前事業年度 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)				当事業年度 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)																																																											
<p>2. 関係会社との取引にかかるものが次のとおり含まれております。</p> <table border="1"> <tr> <td>当期商品仕入高</td> <td>4,489百万円</td> <td>当期商品仕入高</td> <td>4,272百万円</td> </tr> <tr> <td>仕入副費</td> <td>517</td> <td>仕入副費</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>340</td> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>553</td> </tr> <tr> <td>受取利息</td> <td>20</td> <td>受取利息</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>受取配当金</td> <td>92</td> <td>受取配当金</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>受取賃貸料</td> <td>76</td> <td>受取賃貸料</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>7</td> <td>雑収入</td> <td>26</td> </tr> </table>				当期商品仕入高	4,489百万円	当期商品仕入高	4,272百万円	仕入副費	517	仕入副費	463	販売費及び一般管理費	340	販売費及び一般管理費	553	受取利息	20	受取利息	42	受取配当金	92	受取配当金	163	受取賃貸料	76	受取賃貸料	78	雑収入	7	雑収入	26	<p>1. 商品期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。</p> <p style="text-align: right;">69百万円</p> <p>2. 関係会社との取引にかかるものが次のとおり含まれております。</p> <table border="1"> <tr> <td>当期商品仕入高</td> <td>4,489百万円</td> <td>当期商品仕入高</td> <td>4,272百万円</td> </tr> <tr> <td>仕入副費</td> <td>517</td> <td>仕入副費</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>340</td> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>553</td> </tr> <tr> <td>受取利息</td> <td>20</td> <td>受取利息</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>受取配当金</td> <td>92</td> <td>受取配当金</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>受取賃貸料</td> <td>76</td> <td>受取賃貸料</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>7</td> <td>雑収入</td> <td>26</td> </tr> </table>				当期商品仕入高	4,489百万円	当期商品仕入高	4,272百万円	仕入副費	517	仕入副費	463	販売費及び一般管理費	340	販売費及び一般管理費	553	受取利息	20	受取利息	42	受取配当金	92	受取配当金	163	受取賃貸料	76	受取賃貸料	78	雑収入	7	雑収入	26
当期商品仕入高	4,489百万円	当期商品仕入高	4,272百万円																																																												
仕入副費	517	仕入副費	463																																																												
販売費及び一般管理費	340	販売費及び一般管理費	553																																																												
受取利息	20	受取利息	42																																																												
受取配当金	92	受取配当金	163																																																												
受取賃貸料	76	受取賃貸料	78																																																												
雑収入	7	雑収入	26																																																												
当期商品仕入高	4,489百万円	当期商品仕入高	4,272百万円																																																												
仕入副費	517	仕入副費	463																																																												
販売費及び一般管理費	340	販売費及び一般管理費	553																																																												
受取利息	20	受取利息	42																																																												
受取配当金	92	受取配当金	163																																																												
受取賃貸料	76	受取賃貸料	78																																																												
雑収入	7	雑収入	26																																																												
<p>3. 研究開発費の総額</p> <p>一般管理費に含まれる研究開発費 1,872百万円</p>				<p>3. 研究開発費の総額</p> <p>一般管理費に含まれる研究開発費 1,929百万円</p>																																																											
<p>5. 減損損失</p> <p>当事業年度において、当社は主に以下の資産グループにおいて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> <th>減損損失 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休施設</td> <td>建物及び構築物等</td> <td>埼玉県加須市</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table>				用途	種類	場所	減損損失 (百万円)	遊休施設	建物及び構築物等	埼玉県加須市	104	<p>4. 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。</p> <table border="1"> <tr> <td>車輛運搬具</td> <td>0百万円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>5. 減損損失</p> <p>当事業年度において、当社は主に以下の資産グループにおいて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> <th>減損損失 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処分予定資産</td> <td>建物及び土地</td> <td>埼玉県加須市</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>処分予定資産</td> <td>建物及び土地</td> <td>神奈川県横浜市</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table>				車輛運搬具	0百万円	器具備品	0	土地	5	合計	5	用途	種類	場所	減損損失 (百万円)	処分予定資産	建物及び土地	埼玉県加須市	361	処分予定資産	建物及び土地	神奈川県横浜市	82																												
用途	種類	場所	減損損失 (百万円)																																																												
遊休施設	建物及び構築物等	埼玉県加須市	104																																																												
車輛運搬具	0百万円																																																														
器具備品	0																																																														
土地	5																																																														
合計	5																																																														
用途	種類	場所	減損損失 (百万円)																																																												
処分予定資産	建物及び土地	埼玉県加須市	361																																																												
処分予定資産	建物及び土地	神奈川県横浜市	82																																																												
<p>当社は管理会計上の単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュフローを生み出す最小単位でグルーピングをしております。また、賃貸資産及び遊休資産については、個別の資産グループごとにグルーピングをしております。</p> <p>上記記載の遊休施設については、集約化のため閉鎖することとなり、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は取引事例等を勘案した合理的な見積による正味売却価額により測定しております。</p>				<p>当社は管理会計上の単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュフローを生み出す最小単位でグルーピングをしております。また、賃貸資産及び遊休資産については、個別の資産グループごとにグルーピングをしております。</p> <p>上記記載の処分予定資産については、翌年度中に処分を予定しているため、市場価格の下落により損失が見込まれましたので、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は取引事例等を勘案した合理的な見積による正味売却価額により測定しております。</p>																																																											

(訂正後)

前事業年度 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)	当事業年度 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)																																																										
<p>3. 関係会社との取引にかかるものが次のとおり含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">当期商品仕入高</td><td style="text-align: right;">4,489百万円</td></tr> <tr><td>仕入副費</td><td style="text-align: right;">517</td></tr> <tr><td>販売費及び一般管理費</td><td style="text-align: right;">340</td></tr> <tr><td>受取利息</td><td style="text-align: right;">20</td></tr> <tr><td>受取配当金</td><td style="text-align: right;">92</td></tr> <tr><td>受取賃貸料</td><td style="text-align: right;">76</td></tr> <tr><td>雑収入</td><td style="text-align: right;">7</td></tr> </table> <p>4. 研究開発費の総額</p> <p style="margin-left: 20px;">一般管理費に含まれる研究開発費 1,872百万円</p> <p>6. 減損損失 当事業年度において、当社は主に以下の資産グループにおいて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">用途</th> <th style="width: 15%;">種類</th> <th style="width: 15%;">場所</th> <th style="width: 55%;">減損損失 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休施設</td> <td>建物及び構築物等</td> <td>埼玉県加須市</td> <td style="text-align: center;">104</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は管理会計上の単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュフローを生み出す最小単位でグルーピングをしております。また、賃貸資産及び遊休資産については、個別の資産グループごとにグルーピングをしております。</p> <p>上記記載の遊休施設については、集約化のため閉鎖することとなり、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は取引事例等を勘案した合理的な見積による正味売却価額により測定しております。</p>	当期商品仕入高	4,489百万円	仕入副費	517	販売費及び一般管理費	340	受取利息	20	受取配当金	92	受取賃貸料	76	雑収入	7	用途	種類	場所	減損損失 (百万円)	遊休施設	建物及び構築物等	埼玉県加須市	104	<p>1. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">たな卸資産評価損</td> <td style="text-align: right;">246百万円</td> </tr> </table> <p>2. 商品期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。</p> <p style="text-align: right;">69百万円</p> <p>3. 関係会社との取引にかかるものが次のとおり含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">当期商品仕入高</td><td style="text-align: right;">4,272百万円</td></tr> <tr><td>仕入副費</td><td style="text-align: right;">463</td></tr> <tr><td>販売費及び一般管理費</td><td style="text-align: right;">553</td></tr> <tr><td>受取利息</td><td style="text-align: right;">42</td></tr> <tr><td>受取配当金</td><td style="text-align: right;">163</td></tr> <tr><td>受取賃貸料</td><td style="text-align: right;">78</td></tr> <tr><td>雑収入</td><td style="text-align: right;">26</td></tr> </table> <p>4. 研究開発費の総額</p> <p style="margin-left: 20px;">一般管理費に含まれる研究開発費 1,929百万円</p> <p>5. 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 80%;">車輛運搬具</td><td style="text-align: right;">0百万円</td></tr> <tr><td>器具備品</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>土地</td><td style="text-align: right;">5</td></tr> <tr style="border-top: 1px solid black;"> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> </table> <p>6. 減損損失 当事業年度において、当社は主に以下の資産グループにおいて減損損失を計上いたしました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">用途</th> <th style="width: 15%;">種類</th> <th style="width: 15%;">場所</th> <th style="width: 55%;">減損損失 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処分予定資産</td> <td>建物及び土地</td> <td>埼玉県加須市</td> <td style="text-align: center;">361</td> </tr> <tr> <td>処分予定資産</td> <td>建物及び土地</td> <td>神奈川県横浜市</td> <td style="text-align: center;">82</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は管理会計上の単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュフローを生み出す最小単位でグルーピングをしております。また、賃貸資産及び遊休資産については、個別の資産グループごとにグルーピングをしております。</p> <p>上記記載の処分予定資産については、翌年度中に処分を予定しているため、市場価格の下落により損失が見込まれましたので、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は取引事例等を勘案した合理的な見積による正味売却価額により測定しております。</p>	たな卸資産評価損	246百万円	当期商品仕入高	4,272百万円	仕入副費	463	販売費及び一般管理費	553	受取利息	42	受取配当金	163	受取賃貸料	78	雑収入	26	車輛運搬具	0百万円	器具備品	0	土地	5	合計	5	用途	種類	場所	減損損失 (百万円)	処分予定資産	建物及び土地	埼玉県加須市	361	処分予定資産	建物及び土地	神奈川県横浜市	82
当期商品仕入高	4,489百万円																																																										
仕入副費	517																																																										
販売費及び一般管理費	340																																																										
受取利息	20																																																										
受取配当金	92																																																										
受取賃貸料	76																																																										
雑収入	7																																																										
用途	種類	場所	減損損失 (百万円)																																																								
遊休施設	建物及び構築物等	埼玉県加須市	104																																																								
たな卸資産評価損	246百万円																																																										
当期商品仕入高	4,272百万円																																																										
仕入副費	463																																																										
販売費及び一般管理費	553																																																										
受取利息	42																																																										
受取配当金	163																																																										
受取賃貸料	78																																																										
雑収入	26																																																										
車輛運搬具	0百万円																																																										
器具備品	0																																																										
土地	5																																																										
合計	5																																																										
用途	種類	場所	減損損失 (百万円)																																																								
処分予定資産	建物及び土地	埼玉県加須市	361																																																								
処分予定資産	建物及び土地	神奈川県横浜市	82																																																								